

戦評用紙

大会名	第67回藤井杯・高野杯山形県高等学校バスケットボール選手権大会
-----	---------------------------------

日時	20 15 年 4 月 26 日 14 : 15 ~	区分	山形県バスケットボール協会
----	----------------------------	----	---------------

チームA				チームB	
羽黒				山形南	
66	13	1Q	15	63	
	20	2Q	12		
	13	3Q	15		
	20	4Q	21		
		延長			

【戦評】

白のユニフォーム羽黒高校は、#4・5・11・13・14。対する青のユニフォーム山形南高校は#5・6・7・14・17がスターティングメンバー。白はオールコート1-2-1-1から2-3のゾーンディフェンス。青はオールコートのマンツーマンディフェンスでゲームが始まる。試合序盤からゴール下で激しく競り合い、お互い一步も譲らない展開が続く。途中青は#14に代わり#4が入る。両チームともペースを握ることができないまま時計が進み、白13-15青で第1ピリオド終了。第2ピリオドもメンバー、ディフェンスとも変わらずにスタート。2分30秒、青がミドルシュートを連続で決め白13-19青となったところで白が一回目のタイムアウト。タイムアウト明け白は#11が連続で3Pシュート成功させ逆転する。その後もアウトサイドのシュートを確率高く成功させ6分15秒のところ白26-21青と5点のリードを奪う。青はここで一回目のタイムアウトを取り、リズムを変えようと試みる。一時、速攻からの得点で点差を詰めるが#11の3Pが再び決まり、白33-27青と6点リードして前半を終える。

後半、両チームとも同じディフェンスでスタートする。白はロングシュート、ミドルシュートとも確率よく決め点数を重ねる。一方青はなかなかシュートが決まらず点差を詰めることができない。ここで青はディフェンスを3-2ゾーンディフェンスに変更する。ここからは一進一退の展開となり、ゲームが進む。第3ピリオド終盤からは、青のゾーンディフェンスを白が攻めあぐねている間に青が徐々に点差を詰め、白46-42青と4点差になったところでピリオド終了。第4ピリオドは青のオフェンスから#7がシュートを決めスタート。しかし白は#10が3Pシュートを3本連続で決め点差を広げる。4分、青は後半最初のタイムアウト。白55-48青。ここでディフェンスをオールコートのマンツーマンに戻す。ここから青が再び徐々に点差をつめ、3点差となる。その後はお互いに点数を決め、点差が変わらないまま時計が進む。8分30秒、青#17がインターセプトからレイアップを決め1点差となる。白タイムアウト。白62-61青。ここで白はオフェンスをしっかりと成功させ白64-61青と、再び点差を広げる。その後青#17がゴールを決め1点差。白のオフェンスとなる。青はファールゲームを仕掛ける。残り24秒白がフリースローを落としてしまい、青に逆転のチャンスがめぐってくる。しかし最後のミドルシュートがゴールリングを逸れ、白がリバウンドを押さえたところで万事休す。そのリバウンドで得たフリースローを#13が2本しっかりと決め、白66-63青の3点差で羽黒高校が県新人に引き続き優勝した。

戦評者

神位 裕介